

経営のご相談は
お近くのBSD
(ビジネス
サポートデスク)
まで!



京都ぎょくろのごえん茶 (エステーワイ株式会社)

京都市中京区天性寺前町541-4 TEL:075-746-6542

#経営計画策定支援 #人材育成

しばらくして、佐々木が閉店する小売店を紹介、その物件が、現在の「京都ぎょくろのごえん茶 蝸薬師本店」となる。広さも手頃で、商店街からも近い好立地。2016年、期待と不安の入り交じるスタートだったが、開店直後から好評を博し、わずか1年後に寺町店もオープンさせた。この出会いと開店が、

偶然的な出会いと、 運命的な店舗オープン

柴田さんと京都商工会議所との出会いは、会社員として勤める傍ら、お茶の事業をスタートしようとしていた時。参加した異業種交流イベントで、柴田さんが佐々木経営支援員(以下、佐々木)に声をかけたことがきっかけだった。その後、退職・創業を経て商工会議所へ通うようになり「いつか小さなお店を持てたら」と将来を語るようになっていく。

ターニングポイントには

いつも商工会議所が

そばにいてくれた

その後の事業成長につながる転機となった。

事業拡大と次なる転機

その後、京都商工会議所の「知恵ビジネスプランコンテスト」の認定を受けたことで、事業は大きく拡大。京都内外の企業から取引やコラボレーションの打診が相次ぐようになる。この10年で事業規模は従業員20名超へと成長。生産体制も大幅に強化した。一方で、規模の拡大に伴って組織のマネジメントという新たな課題も浮かび上がってきた。

プレイヤーから経営者へ

2024年、佐々木は京都大学の管理会計専門家庭教育プログラム「京大EMBA」への参加を柴田さんに勧めた。このプログラムは、



チーフディレクター
柴田 彩巴さん

佐々木経営支援員

税理士や会計士が中小企業の経営計画策定を支援することを目的としたもの。マネジメントに課題を感じていた柴田さんはプログラムを通じて、自身の経営に対する向き合い方を深く見つめ直していった。

佐々木は柴田さんの変化をこう振り返る。「アイデアと人柄に人が集まり、始まった事業で、当初はビジネスモデルが定まらず不安もありました。しかし、柴田さんの魅力はそのままに、経営者として着実に成長されている姿は、一つのロールモデルだと思っています。私自身も大変学ばせてもらいました」。

詳細はWebから
ご確認
いただけます



「京大EMBA」修了後、策定した経営戦略を社内で共有すると、社員の意識が大きく変わったという。▶

